

保護者の皆様

狛江市立狛江第五小学校長

細谷 俊太郎

1月の安全指導について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。1月の安全指導は下記のとおりです。昨年12月上旬、青森県東方沖を震源とする最大震度6強の地震が発生しました。先日発生した島根県東部を震源とする地震では、最大震度5強を記録しました。昨年の年始に能登で起きた地震についても、鮮明に記憶されていることと思います。また、各地で火災も多発しています。災害時に最も重要なのは、落ち着いて行動し安全に避難することです。もしもの時に備えて、ご家庭でもあらためて災害発生時の約束の確認や正しい行動の確認をお願いします。

○実施内容【地震と火災のときの行動を身に付けよう】

地震

～避難のポイント～

- ・たおれてこない
- ・おちてこない
- ・いどうしてこない

物が倒れてこない場所、
落ちてこない場所、
移動してこない場所に
避難し、安全を確保する
ようにする。

～地震そのとき 10のポイント!～

(東京消防庁 HP より)

地震発生	①地震だ!まず身の安全
地震直後	②落ち着いて 火の元確認 初期消火 ③あわてた行動 けがのもと ④窓や戸を開け 出口を確保 ⑤門や塀には近寄らない
地震後	⑥火災や津波 確かな避難 ⑦正しい情報 確かな行動 ⑧確かめ合おう わが家の安全・隣の安否 ⑨協力し合って救出・救護 ⑩避難の前に 安全確認 電気・ガス

火災

～火災の原因や危険性を学ぶ～ (東京消防庁 HP より)

・火遊びをしない!

- ・火を使うときは大人と一緒に!
- ・火を使うときは、消火用の水を用意する!
- 火の危険性を知り、近付かないようにする。

・火よりも煙が危険!

火災で発生する煙を吸い込むと、呼吸ができなくなり、命を落としてしまいます。
→ハンカチやタオルで鼻と口を覆う!
低い姿勢で焦らず逃げる!

～火災を見つけたら～ (東京消防庁 HP より)

- ① 「火事だ!」と大きな声で周りに知らせる。
- ② ハンカチやマスク、上着の袖口で鼻と口を押え、煙を吸わないように低い姿勢で避難する。
- ③ 落ち着いて行動し、先生や周りの大人の指示を聞く。

- 「お」→おさない
- 「か」→かけない
- 「し」→しゃべらない
- 「も」→もどらない
- 「ち」→ちかよらない

避難するときの合言葉「おかしもち」!

学校内外問わず、地震や火災が発生したときには安全な場所へ避難します。どんな状況でも落ち着いて行動できるよう、「おかしもち」の約束を守ります。また、よく考えながら学校の避難訓練に取り組み、災害時の家族との集合場所や連絡方法などを確認して、自分の命を守れるように備えておきます。

担当 生活指導主任 井上 愛子